

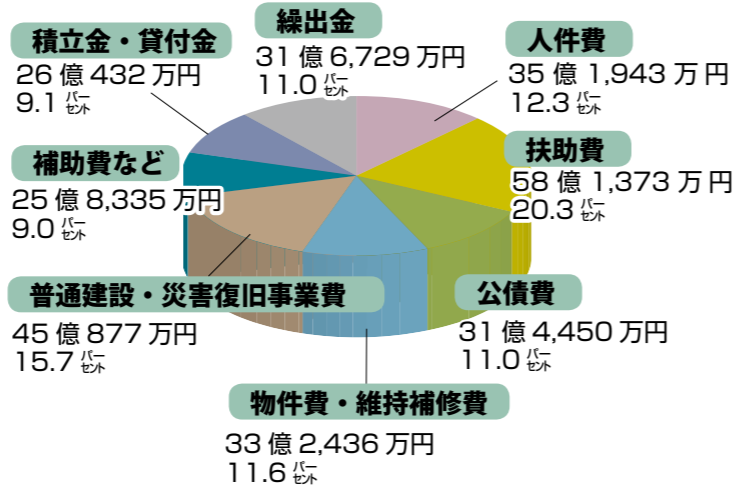
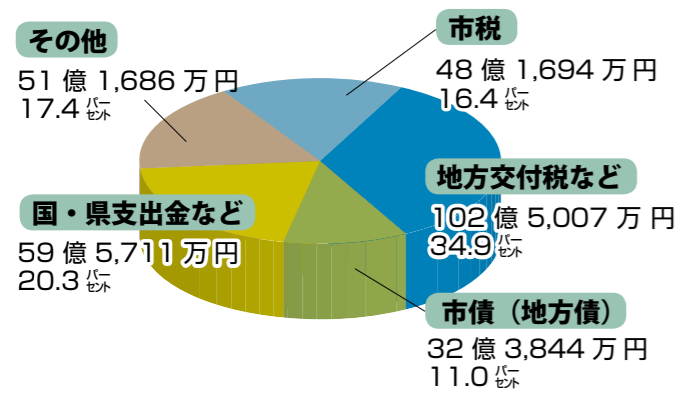
# 平成 28 年度決算報告

小林市の平成28年度の決算がまとまりました。どのような収入があり、どのように使われたのか。そして、小林市の財政状況はどうなっているのか。歳入歳出の決算額をさまざまな比率とともにお知らせします。

●問：財政課Tel 23 - 1114

歳入平成28年度は293億7,942万円

歳出平成28年度は286億6,575万円



健全化が進められています

健全化判断比率を  
読み解く



実質赤字比率

(単位:%)

一般会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率

H 27	H 28	早期健全化基準
—	—	12.81

※赤字ではないため、「—」で表示

連結実質赤字比率

(単位:%)

全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率

H 27	H 28	早期健全化基準
—	—	17.81

※赤字ではないため、「—」で表示

実質公債費比率

(単位:%)

借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度を見る比率

H 27	H 28	早期健全化基準
10.3	10.4	25.0

将来負担比率

(単位:%)

市が抱える負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る比率

H 27	H 28	早期健全化基準
96.0	93.5	350.0

平成28年度決算は、どの比率も早期健全化基準内であるため、健全化に向けた取り組みが進められていると判断できます。

会計別に見る  
決算状況

単位(千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	29,379,420	28,665,754	713,666
特別会計			
簡易水道事業	836,346	790,410	45,936
食肉センター事業	233,414	56,931	176,483
国民健康保険事業	8,317,649	8,072,033	245,616
物品購入	267,789	267,789	0
農業集落排水事業	233,195	217,278	15,917
下水道事業	913,953	876,858	37,095
西諸地域介護認定審査事業	33,931	28,495	5,436
介護保険事業	5,720,521	5,573,902	146,619
後期高齢者医療事業	1,250,347	1,247,951	2,396
西諸地区いじめ問題対策専門家委員会	180	83	97
企業会計			
水道事業	555,645	440,110	115,535
病院事業	2,436,559	2,478,696	△42,137

歳入と歳出の差引

収支の前年度比較 (一般会計)

単位(千円、%)

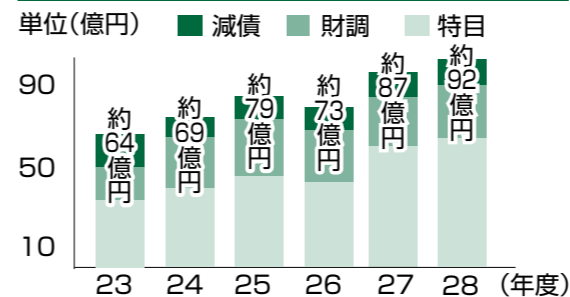
区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額
H28	29,379,420	28,665,754	713,666
H27	28,864,172	27,899,095	965,077
増減額	515,248	766,659	△251,411
増減率	1.8	2.7	△26.1

歳入総額は293億7942万円、歳出総額は286億6575万円で、前年度と比較すると約8億円増加し、過去最大の決算規模になりました。

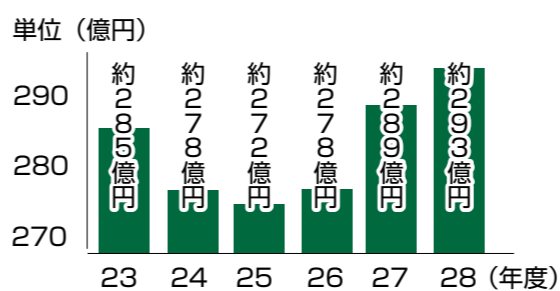
市の財政を家計に例えると

市の財政	家計
<b>収入</b>	
・市税	・月収(給料など)
・地方交付税	・親からの仕送り
<b>支出</b>	
・人件費	・食費
・扶助費	・医療費など
・公債費	・ローン返済など
・物件費	・光熱費・家賃

基金残高の推移



地方債残高の推移



**歳入の状況**  
歳入には、市以外に頼る収入(依存財源)と市独自の収入(自主財源)があります。依存財源は主に、地方交付税や国県からの補助金、地方債などがあります。28年度は、約194億円です。28年度は、約99億円で全体の33・8%でした。今後も自主財源の確保に努めます。

**歳出の状況**  
歳出は、義務的経費、投資的経費、その他の経費に

分類されます。義務的経費は、毎年必ず支払う人件費や扶助費、公債費など、支出が義務付けられ、削減することが難しいものことです。28年度は扶助費の影響により、前年度比プラス3・0%になりました。投資的経費は、道路の整備や施設の建設を行うためのもので、普通建設事業費や災害復旧事業費の増加です。28年度は市営住宅建設事業費や災害復旧費等の影響により、前年度比プラス13・8%になりました。

**健全財政の継続に向けて**  
第2次小林市総合計画の実現に向けて、健全で効率的かつ計画的な財政運営を推進し、安定した財政基盤の確立を目指します。

**地方債残高と基金残高**  
地方債の残高は、新庁舎建設事業に合併特例債を活用したことなどにより約4億円増えました。地方債は市が行う長期借入のことです。借入れの際は、返済分が地方交付税で手当てされるものを優先し、負担の軽減に努めています。一方、家計に例えれば貯金にあたる基金の残高は、前年度と比較して約5億円増えました。

もっと「財政」を理解する

財政にまつわる用語を解説します

**【地方交付税】**  
地域による経済格差を埋めるために国が地方に配分するお金。普通交付税と特別交付税があり、どちらも使用に制限はありません。

**【地方債】**  
借金のこと。今税金を払っている人だけではなく、将来利用する人にも負担してもらおうという考えに基づいています。一般財源が少なくても、大きな事業に着手することができます。

**【財調(財政調整基金)】**  
災害復旧など臨時、異常な財政需要の財源に充てるための基金。

**【減債(減債基金)】**  
地方債の償還に必要な財源を確保するための基金。

**【特目(特定目的基金)】**  
利用目的を限定している基金。目的外分野には使えません。

**【特目(特定目的基金)】**  
利用目的を限定している基金。目的外分野には使えません。